

3 小学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

(1) 国 語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—	
話・聞	：話す能力・聞く能力
書 く	：書く能力
読 む	：読む能力
言 語	：言語についての知識・理解・技能

(◇：「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	設定通過率(%)	通過率(%)	
A話すこと・聞くこと (1)3・4年エ	1	一	ア		話・聞	85.0	74.3
			イ	◇	話・聞	70.0	14.6
		二	◇	話・聞	70.0	69.4	
		三	◇	話・聞	65.0	58.4	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1)3・4年ウ(イ)	一	(1)		言 語	80.0	96.2	
				言 語	70.0	88.4	
				言 語	65.0	59.4	
	二	(1)		言 語	70.0	88.0	
				言 語	75.0	58.4	
				言 語	65.0	69.2	
	(2)1・2年イ	三		言 語	60.0	66.4	
	(1)3・4年ウ(ア)	四	(1)		言 語	70.0	67.8
			(2)		言 語	65.0	59.9
	(1)3・4年イ(エ)	五		言 語	80.0	59.3	
(1)3・4年ウ	六	◇	言 語	55.0	26.1		
(1)3・4年イ(キ)	七	(1)		言 語	80.0	69.8	
		(2)		言 語	60.0	48.4	
C読むこと (1)5・6年ウ	一			読 む	70.0	65.9	
C読むこと (1)3・4年エ	3	(1)	◇	読 む	65.0	58.8	
			◇	読 む	65.0	9.4	
			◇	読 む	55.0	86.3	
C読むこと (1)3・4年イ	(3)	◇	読 む	55.0	86.3		
C読むこと (1)3・4年ウ	一			読 む	65.0	9.7	
C読むこと (1)3・4年ウ	二			読 む	70.0	39.9	
C読むこと (1)3・4年エ	4	(1)	◇	読 む	60.0	12.0	
◇			読 む	50.0	32.9		
C読むこと (1)3・4年オ	(2)	◇	読 む	50.0	32.9		
B書くこと (1)3・4年アイウ	5	◇	書 く	50.0	56.9		

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容		設定 通過率	東青管内			西北管内				
					青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡	
1	一	ア	話の中心の聞き取り	85.0	74.5	75.1	64.8	71.8	71.1	74.1	71.2
		イ	話の要点の聞き取り	70.0	14.9	15.2	9.9	13.9	14.4	15.5	12.1
	二	提案内容の聞き取り	70.0	70.6	70.7	70.4	68.5	69.8	70.3	66.0	
	三	自分の意見の発表	65.0	54.1	53.1	71.1	62.8	58.0	63.6	67.8	
2	一	(1)	「注文」の読み方	80.0	96.2	96.3	94.4	97.6	97.5	98.7	97.1
		(2)	「都合」の読み方	70.0	86.4	87.0	76.1	88.9	89.6	90.0	87.3
		(3)	「用(いる)」の読み方	65.0	56.1	57.6	29.6	75.8	75.4	79.1	74.1
	二	(1)	「なんきょく」の書き方	70.0	88.8	89.1	84.5	85.5	81.3	90.8	87.1
		(2)	「せつやく」の書き方	75.0	61.7	62.8	43.0	53.6	52.4	56.9	53.0
		(3)	「きむ(い)」の書き方	65.0	69.2	69.8	59.2	67.5	63.9	74.5	67.3
	三		「発」の筆順	60.0	65.7	65.5	68.3	64.2	62.5	59.8	68.9
	四	(1)	ローマ字「tyokinbako」の読み方	70.0	68.2	69.0	54.9	69.5	68.6	73.2	68.1
		(2)	「うさぎ」のローマ字での書き方	65.0	59.8	59.9	57.7	61.0	61.2	67.8	56.5
	五		読点の打ち方	80.0	53.2	53.6	45.8	46.6	53.0	38.1	44.3
	六		漢字のへんやつくり	55.0	27.2	27.6	21.1	22.9	23.5	20.5	23.7
	七	(1)	主語と述語の関係	80.0	71.6	71.7	69.7	68.3	63.4	74.9	69.9
		(2)	修飾と被修飾の関係	60.0	51.5	51.4	53.5	50.1	53.5	51.0	45.6
3	一		構成の仕方や巧みな叙述などの読み取り	70.0	67.8	68.0	63.4	62.8	63.7	64.4	60.7
	二	(1)	目的や必要に応じた読み取り(引用)	65.0	56.8	57.0	53.5	60.7	55.5	63.2	65.2
		(2)	目的や必要に応じた読み取り(要約)	65.0	8.6	8.9	4.2	7.1	5.0	11.7	6.6
		(3)	中心となる語や文の読み取り	55.0	86.4	86.4	85.9	85.2	79.0	88.3	90.5
4	一		叙述を基に想像した読み取り(登場人物の気持ち)	65.0	7.5	7.3	9.9	8.9	8.8	7.9	9.5
	二		叙述を基に想像した読み取り(登場人物の性格)	70.0	41.1	41.4	35.9	36.7	34.8	36.8	38.8
	三	(1)	表現の細かい点に注意した読み取り(引用)	60.0	11.8	12.3	3.5	10.6	9.0	12.1	11.3
		(2)	文章を読んでの考え、まとめ(発表・交流)	50.0	31.9	32.1	27.5	30.7	29.1	31.8	31.9
5		資料を効果的に使った説明	50.0	54.5	54.4	54.9	57.3	59.1	55.6	56.2	
教科全体				66.7	55.2	55.5	50.5	54.9	54.0	56.6	55.0

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
75.3	75.4	79.3	79.3	67.2	77.6	78.6	76.5	77.5	73.3	74.8	67.2	72.2	73.4	67.7	74.3
18.7	19.0	15.3	26.3	13.5	15.3	17.8	19.5	11.3	13.6	16.0	3.8	10.9	11.9	7.2	14.6
69.1	69.8	74.8	68.5	59.9	70.0	68.5	69.8	71.1	63.1	63.7	60.3	70.1	71.6	64.2	69.4
64.4	65.3	54.4	69.3	65.7	52.2	57.3	36.1	57.1	61.2	60.1	65.6	59.4	60.1	57.1	58.4
96.0	96.2	96.3	95.2	95.3	95.6	96.4	94.8	95.5	96.0	96.9	92.4	96.2	96.3	95.9	96.2
94.4	94.1	95.6	96.7	92.3	83.8	85.1	85.0	82.1	93.7	94.8	89.3	87.1	88.0	84.0	88.4
72.1	72.7	78.6	75.2	58.8	50.1	52.3	45.8	50.8	65.2	64.9	66.4	50.3	51.8	44.6	59.4
89.6	88.6	92.5	93.0	88.0	86.9	90.1	77.0	89.9	91.8	91.8	91.6	86.8	87.4	84.7	88.0
61.5	58.2	71.8	67.8	60.6	56.3	61.4	51.8	54.8	60.6	63.2	50.4	55.5	58.1	45.9	58.4
75.9	76.3	75.2	80.4	70.8	62.6	67.4	59.1	60.9	64.7	63.4	70.2	69.7	70.5	66.8	69.2
66.9	67.7	66.3	61.5	69.0	69.5	69.1	65.3	72.0	65.5	65.1	67.2	65.7	65.4	66.7	66.4
68.2	66.5	73.1	73.7	66.1	71.0	74.4	65.8	71.4	70.2	72.5	61.1	63.4	65.1	57.3	67.8
64.2	61.0	72.8	68.5	66.8	61.0	65.3	54.2	61.5	59.8	61.6	52.7	55.2	56.9	48.7	59.9
72.2	73.2	69.0	78.9	64.2	48.3	45.1	48.9	50.4	75.1	77.9	64.1	63.2	64.3	59.3	59.3
23.6	21.8	24.1	25.2	30.7	28.3	31.1	24.7	28.1	17.9	17.4	19.8	28.9	29.8	25.6	26.1
66.7	63.9	69.0	78.5	66.8	73.7	79.1	64.4	74.7	56.2	59.5	42.7	72.0	71.8	72.7	69.8
51.2	49.0	54.8	57.4	51.8	50.3	54.9	45.4	49.6	42.4	42.2	43.5	42.5	42.4	42.9	48.4
66.3	65.6	69.4	71.5	61.7	62.7	63.6	60.6	63.1	65.0	65.3	64.1	67.4	68.4	63.5	65.9
63.7	60.5	62.2	67.4	77.0	59.4	60.0	54.4	61.7	54.0	54.4	52.7	56.6	58.0	51.5	58.8
12.3	9.2	9.5	15.9	27.0	8.8	6.5	8.6	10.7	6.6	6.9	5.3	9.9	10.6	7.2	9.4
86.7	85.3	89.8	90.0	87.6	85.3	87.7	82.9	84.9	84.6	84.7	84.0	87.2	88.8	81.1	86.3
11.9	11.0	15.3	10.7	13.9	9.8	10.8	10.0	8.9	16.6	18.7	8.4	8.8	8.8	8.8	9.7
41.6	42.4	40.5	41.5	38.7	37.7	35.2	44.4	35.9	32.8	33.0	32.1	41.7	43.2	36.0	39.9
12.2	11.0	12.9	15.9	13.5	12.5	13.2	13.8	11.3	13.7	14.5	10.7	12.0	12.8	9.2	12.0
32.5	32.7	26.5	37.0	33.2	34.1	39.1	28.0	33.6	33.1	35.5	23.7	34.2	35.5	29.5	32.9
60.6	61.5	61.6	51.9	63.9	53.5	59.7	39.9	56.1	54.5	54.4	55.0	58.8	60.1	54.1	56.9
58.4	57.6	59.6	61.4	57.8	54.5	56.5	51.0	54.8	55.1	55.9	51.7	54.8	55.8	51.2	55.6

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題 (10問)	通過率の低かった 問題 (10問)	各内容・領域 の通過率(%)	設定通過率 (%)
話すこと・ 聞くこと	4	①一ア、①二	①一イ	54.2	72.5
書くこと	1		⑤	56.9	50.0
読むこと	8	③二(3)	③二(2)、④一、 ④二、④三(1)・(2)	39.4	62.5
伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項	13	②一(1)(2)、 ②二(1)(3)、②三、 ②四(1)、②七(1)	②二(2)、②六、 ②七(2)	65.9	68.8

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題 (10問)	通過率の低かった 問題 (10問)	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
話す能力・ 聞く能力	4	①一ア、①二	①一イ	54.2	72.5
書く能力	1		⑤	56.9	50.0
読む能力	8	③二(3)	③二(2)、④一、 ④二、④三(1)・(2)	39.4	62.5
言語につい ての知識・ 理解・技能	13	②一(1)・(2)、 ②二(1)・(3)、②三、 ②四(1)、②七(1)	②二(2)、②六、 ②七(2)	65.9	68.8

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率 (%)	主な誤答(無答を含む)例 (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)
① 一イ	14.6	70.0	どうすればいいか・どうすれば安全か(31.0)、解決方法・ できること(15.5)、「車がすぐ近くを通った」などの体験 談からの内容(14.0)、無答(8.0)
② 六	26.1	55.0	無答(32.5)、記号アイ(16.0)、一方だけに合うつくり (9.0)、両方に合わないつくり(6.0)、へん(5.0)
③ 二(2)	9.4	65.0	「食べる機会が増えます」(53.0)、イソギンチャクの利益 ではないもの(19.5)、無答(8.5)
④ 一	9.7	65.0	登場人物…無答(4.0)、ロロ(2.5)、お母さん(2.0)、 ロモとおばあさん(2.0) 気持ち…書き抜き箇所が違う(40.5)、書き抜いていない (37.0)、無答(9.5)
④ 二	39.9	70.0	全登場人物を書いている(45.0)、ウエに別人物を書いてい る(43.0)、アイの当てはめ違い(25.0)、無答(2.0)
④ 三(1) (2)	23.6 (※1、2の平均)	55.0 (※1、2の平均)	(1)…書き抜いていない(32.5)、書き抜き箇所が違う(30.5)、 無答(12.0) (2)…無答(17.0)、「伝わって」(10.0)、「変わって」(5.5)、 「あきらめて」(2.5)、「にて」(2.0)
⑤	56.9	50.0	無答(33.0)、条件2を満たしていない(21.5)、条件3を 満たしていない(13.5)、条件1を満たしていない(11.5)

- 誤答の原因として、**①**一イでは、「どうすればいいのか」など、言葉が足りずに誤答となっている児童が多かったことから、議題との関連で捉える意識が薄かったことが考えられる。
- 誤答の原因として、**②**六では、無答やどちらか一方の部首に合った漢字を書いている児童が多かったことから、既習漢字と部首が結び付いていなかったことが考えられる。
- 誤答の原因として、**③**二(2)では、「えさをとる機会」と、「食べのこし」の両方を満たしていない解答が多かったことから、「また」でつながれた並列関係にある文の両方が、中心となる文であることを捉えられていなかったことが考えられる。
- 誤答の原因として、**④**一では、正しい箇所を書き抜いていない児童が多かったことから、人物の行動の意味が読み取れていなかったことやそこから心情を想像することができなかったことが考えられる。
- 誤答の原因として、**④**二では、全登場人物を書いている児童が多かったことから、ストーリーに沿った人物関係及び会話前後の文章の主語を捉えきれていなかったことが考えられる。
- 誤答の原因として、**④**三(1)では、書き抜きができていない児童が多かったことから、「書き抜く」という作業の意味が理解できていなかったことが考えられる。また、**④**三(2)では、無答や言葉の置き換え違いの児童が多かったことから、人物の心情の変化を捉えていなかったこと等が考えられる。
- 誤答の原因として、**⑤**では、資料1と資料2の内容を読み取り、それを生かしてタイトルに合った文章を書くことができなかったことから、複数の条件を満たす文章を書く力が身に付いていなかったことが考えられる。

カ 今後の指導について

内容・領域別、評価の観点別にみた課題の一つ目として、「話すこと・聞くこと」・「話す能力・聴く能力」においては、話の要点を捉えて聞くとともに、自分の感想や意見を述べることを前提として、自分の考えと比較しながら聞く力の向上や話の一部ではなく、話の全体との関連を考えて要点を捉える力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、話の中心を捉えるために、話している事柄の順序や話の組み立て方を意識しながら聞くようにすることが大切である。その際には、話の全体との関連や意見や理由を意識させながら、大切だと思うことを書き留めておき、そのメモを基に、自分の考えや意見と比較させる指導が大切である。

指導例

話している事柄の順序や組立、要点を聞く力を高める指導
～単元名「『短命県』の改善について意見を述べ合おう」～

【指導の流れ】

- 1 テーマについて一人一人に問題点やその改善策を考えさせる。
 - ・はじめに単元の流れを確認し、単元全体の見通しをもたせる。
 - ・テーマについて全員で確認し、認識を深めさせ、学習意欲を高める。

テーマについて同じ意見の人が集まって考えを深めた後、討論をします。討論の結果を基に意見をまとめ、全体で発表し合います。今回は、相手の話を聞くこともとても大切です。



学習活動 テーマに対して問題点だと思われることを3つ、それに対しての改善策を3つワークシートに書く。

2 同じような意見の児童が集まった班（3～4班）で意見をまとめさせる。

- ・1で書かせたワークシートを基に、意見ごとに班をつくる。

学習活動① 班の中である程度の意見を集約する。

学習活動② 次の討論に向けてメモや原稿をつくる。

ポイント

- ・メモや原稿は、意見・理由・具体例など順序や組み立てを工夫させる。
- ・予想される質問に対する答えも準備させる。

聞く人の立場でメモや原稿を作りましょう。それが、聞き方の勉強にもなります。



3 2でまとめた班の意見をもとにして、小グループで討論させる。

- ・2の班を3～4ペアに分け、他の班のペアを合体させて意見の違う3～4ペアが集まった小グループをつくり、そのグループで討論（意見の述べ合い）を行わせる。

学習活動 流れに沿って意見を述べ合う。

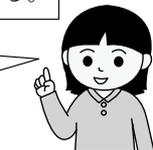
ポイント

- ・意見・理由・具体例などを聞き分けてそれぞれの要点を簡潔にメモさせる。
- ・感想や質問を考えながら相手の意見を聞くようにする。

【討論の流れ】

- ① 順番に意見を述べ合う。
- ② 意見に対して質問をする。
- ③ 質問されたことに答える。

きちんとメモして、意見の違いを聞き分けよう。質問や感想も考えておこう。



4 2の班に戻って討論の結果をまとめさせる。

学習活動① 各グループでの討論で出された質問やそれに対する回答を集約し、2で確認し合った意見に変更はないか話し合う。

学習活動② 学級全体での発表に向けて発表原稿を作成し、役割を分担する。

5 全体で討論の結果を発表させる。

学習活動 全ての班の発表を聞いた後、テーマについて自分の最終意見を書く。

内容・領域別、評価の観点別にみた課題の二つ目として、「書くこと」・「書く能力」においては、相手や目的に応じ、必要なことを選択して書く力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、相手や目的、条件に合った文章を書くことや文の中心を明確にし、段落相互の関係などに気を付けて文章を構成すること、書いたものについて、自分自身や交流による推敲する習慣を身に付けさせる指導を行うようにする。また、相互評価を行うなどし、書く活動を繰り返し指導することが大切である。書く題材として、児童が意欲的に取り組めるような内容を計画的に設定して書かせるようにする。

指導例

収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを条件に合わせて書くための指導
～単元名「紹介する文を書こう『あったらいいな、夢の便利な道具』」～

【指導の流れ】

1 生活の中でこんな物が実際にあったら便利だと思えるものについて話し合わせる。

学習活動① 生活の中での経験について話し合い、交流する中で自分や家族、社会で必要なものについての情報を収集をする。

(例：すぐに起きることができる目覚まし時計、好き嫌いがなくなる箸など)

学習活動② 自分の「あったらいいな、夢の便利な道具」を図や絵で表し、イメージする。

イラストだけだと、ぼくのイメージが伝えにくいなあ。



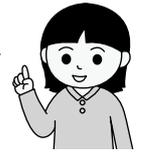
2 イメージしたことや図をもとに、紹介する文章を書くことを伝え、2つのモデルの共通点を見つけ出させ、説明する文章に必要な条件を意識させる。

・児童に見つけてほしい条件が入ったA、Bの例文を示し、共通点を見つけ出させる。



紹介する文章の中に、どんなことが書いてあると読む人にとって分かりやすい文章になるのかなど、AとBの共通点を考えてみましょう。

AもBも、道具を考えた理由が書いてあるわ。他にも共通することがありそうよ。



ポイント

2つのモデルから、説明する文章を書くときに必要ないくつかの条件(下記の例参照)を見つけ出させ、自分が書く文章に取り入れさせる。また、推敲や相互評価の際にも活用させる。

- ・内容としての条件(相手、目的、理由、事例など)
- ・書き方としての条件(段落、順序を表す言葉、接続語、字数など)

学習活動 AとBのモデルの共通点を話し合い、「あったらいいな、夢の便利な道具」を説明する文章を書くときの条件を見つけ出す。

3 話し合いによって見つけた条件を使って、○字以上○字以内の文章を書かせる。

学習活動 条件に合わせて、「あったらいいな、夢の便利な道具」について書く。

4 書いた文章をグループで読み合い、互いにアドバイスさせる。

学習活動 書いた文章をグループで読み合い、条件に合っているか確認したり、よい点や改善点を付箋紙等を使って伝え合ったりする。

5 グループでのアドバイスをもとにし、文章をよりよいものに書き直させる。

学習活動 アドバイスをもらったことについて、書き足したり、削除したりして、文章を完成させる。

条件や友達からのアドバイスで、分かりやすい文章になったよ。



6 書いた作品を発表し、それぞれのよさを認め合うようにする。

学習活動 考えた道具の名前をグループで決め、発表し合う。

内容・領域別、評価の観点別にみた課題の三つ目として、「読むこと」・「読む能力」においては、説明的な文章などを要約する力、目的や必要に応じた文章の読み取りや利用する力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、説明的な文章において、要点や細かい点に注意しながら要約する力を身に付けさせるために、文と文との関係を捉え、中心となる文を見つけられるようにすることが必要である。また、何のための文章を読むのかという目標を設定し、その達成のために、教材文等から情報を取り出して再構成させたり、筆者の論の進め方を参考にして文章を書かせたりすることが大切である。

指導例

目的や必要に応じて文章を読み取る力を高める指導 ～単元名「科学読み物をしようかいしよう」～

【指導の流れ】

1 学習の見通しをもたせる。

学習活動 教師の作成した科学読み物の紹介文を読んで、紹介文に興味をもつとともに、その作成への意欲をもつ。



自分が選んだ科学読み物の紹介文を書こう。そのために、教材文を要約して紹介文を書いてみましょう。

ポイント

何のために、教材文の何を読むのかといった目的や必要感をもたせる。

2 教材を要約させる。

学習活動① ある段落について、中心となる文を見つけ、要点をまとめる。



筆者が説明したいことは何か考えましょう。

文と文との関係を考えて、結論を述べたり、全体をまとめたりしている文はどれでしょうか。

大事な文は、題名や問い、最後の段落とつながっているんじゃないかな。

一つだけだと分かりにくいな。二つの文を大事な文にしよう。



ポイント

- ・中心となる文を捉える基準として、要約の目的（ここでは何が大事と捉えるのか）を意識させる。
- ・いくつかの文がある段落なのか数えさせることによって文を意識させ、文と文との関係を考えさせることによって中心となる文を捉えさせる（文と文との関係性から、一文にならないこともある）。

学習活動② 残りの段落について自力解決し、グループや全体で交流して要点をまとめる。

学習活動③ 段落ごとの要点を使って全文を要約する（字数制限をする）。

3 要約文を利用して、教材の紹介文を書かせる。



教材文の紹介をするために、要約文を使って大まかな内容を伝えましょう。

自分が興味をもったところは、少し詳しく書き足してみましょう。おススメの理由も書きましょう。

ぼくがおススメしたい読み物も、こうやって紹介すればいいんだな。



ポイント

紹介文の完成という結果だけでなく、完成までの過程を意識させ、振り返らせる。（「紹介」という活動を通じて指導事項（ここでは要約）を身に付ける）

4 自分が選んだ科学読み物について紹介文を書かせ、交流（読み合い）させる。

内容・領域別、評価の観点別にみた課題の四つ目として、「読むこと」・「読む能力」においては、文学的な文章の描写に着目しながら、登場人物の相互関係を捉える力の向上、本文の表現を根拠に自分なりの考えをもって交流する力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、文学的な文章において、登場人物を把握し、場面展開における言動を押さえる指導が必要である。

「活用」に関する問題の課題として、文学的文章における目的に応じた本や文章を分析的に読む力やそれを基に自分の考えをまとめながら読む力の向上が挙げられる。

主人公の人物像については、心情や性格、考え方などをより多面的に捉えるような指導が大切になる。そのためには、自分の考え（感動や感想を含む）が、どの表現から生まれるものなのかを交流し合う場を設定する必要がある。

文学的文章を指導する際は、幅広い読書を促すような目的や場を単元を通して設定することが大切である。その中に、読みの視点（条件）としての場面の移り変わり、登場人物の性格や気持ちの変化、情景など、叙述を基にした分析的な読み取りを組み込む必要がある。以下、「読むこと」・「読む能力」（文学的文章）について、活用の力を高める具体的事例について示す。

指導例

読む視点を明確にし、根拠をもって交流する力を高める指導 ～単元名「読書会で椋鳩十の作品の世界を友達と伝え合おう」～

【指導の流れ】

1 読書会の視点（話題）を決め、事前に自分の考えをまとめさせる。



「大造じいさんとがん」についての読書会をプログラムに沿ってやってみましょう。どんな読みの話題にするかを決めましょう。

この言葉がすてきだな、と思ったことなんかはどうだろう。不思議だな、気になるな、ということも話し合ってみよう。



・単元後半には同じ作者の他の作品の読書会を行うことも伝え、活動の見通しをもたせる。

ポイント1

- ・決めた視点で読み取ったことをノートやシートにメモを取らせ、読書会の手持ち資料にさせる。友達との感想・考えの違いがつかみやすくなり、質問も出やすい。
- ・メモには、視点ごとに表現の書き抜きとそれに対する自分の感想・考えを書かせ、読書会を焦点化させる。

2 読書会で交流させる。(学級全体又はグループ)

【プログラムの例】3～6年

- a 作品を読んで最初に感じたことを出す。(1人30秒以内)
- b ①の視点について自分の感想や考えたことを1人1つ発表する。(1人1分以内)
- c 誰に対してでもよいので1人1回質問をし、された人は答える。(1つの質問のやり取り1分以内)

【視点(話題)の例】

(1つの作品の例)

ア「心に残ったところ」

- ・大切だな
- ・この言葉すてきだな
- ・考えさせられるな
- ・心にじいんと来たな

イ「つながったところ」

- ・今までにこんなことがあったな(自分、友達など)
- ・他の作品と似ているな

ウ「疑問」

- ・ふしぎだな
- ・作者に聞いてみたいな
- ・知りたいな

(複数の作品を扱う例)

ア「それぞれの作品に共通する

※以下②、③の視点についても同じように繰り返す。(1つの視点につき約10分)

- d 他の人の考えを聞いたり、話し合ったりして深まった自分の考えを発表する。(1人1分以内)
- e 司会者が全体の感想やよかった点を発表してまとめる。

ことは何か
イ「それぞれの作品から、作者は何を伝えたかったのか」
ウ「作者はどのような考えをもっているのか」



司会を決めましょう。司会は、例えばこんなふうに進めましょう。「視点アの『心に残ったところ』について1人1分で発表してください。理由も忘れずに付けてください。」



ぼくは「えらぶつ」という言葉に、じいんと来ました。大造じいさんは残雪を認めているんだと思ったからです。

【読書会で扱う作品の設定例】(ア) 一つの作品を扱う場合 (イ) 同じ作者の作品を複数扱う場合(あまんきみこ、齋藤隆介、椋鳩十など) (ウ) 同じような内容や傾向・題材の作品を複数扱う場合(動物と人間、ファンタジー作品、戦争、イソップ童話など) (エ) 複数の作品から作者のものの見方・考え方を話題にする場合(宮澤賢治、金子みすゞなど)

キ まとめ

内容・領域別及び評価の観点別にみた学習状況は、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」及び「言語についての知識・理解・技能」並びに「書くこと」及び「書く能力」においては、おおむね良好である。しかし、「読むこと」及び「読む能力」では、文学的文章から、登場人物の人物像や心情の変化を読み取ることに十分とは言えない。

今後、登場人物の相互関係や心情についての指導においては、自分の考えや感想が、どの表現を根拠にするものなのかについて、交流する場を授業の中に位置付けて指導するようにしたい。

「活用」に関する問題についての状況は、十分とは言えない。

今後は、読み取りの場面では、目的や課題に応じて読み、必要な情報を取り出し、それらに関連付ける活動を経験させることで、これらの手順や方法について理解を深めるようにしたい。また、文章全体を大きく捉えて読み、交流を通して考えを明らかにしたり、深めたりする活動を取り入れた授業を行うようにしたい。さらに書く場面においては、相手意識、目的意識を明確にし、具体例を示しながら、児童の実際の生活に関わる表現活動を取り入れた授業を行うようにしたい。